

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（鶴山）中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語（A, B）の正答率は、県平均よりわずかに低く、差は昨年度より縮まった。 数学（A, B）の正答率は、県平均より低い。国語では、「読むこと」の領域、数学では、「関数」、「資料の活用」の領域に課題がある。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	授業の「振り返る活動」や各単元の確かめ問題などに、データベースの問題を活用し、基礎・基本の定着を図る。	B	各教科で振り返る活動や単元の確かめ問題などに工夫して、活用できている。来年度も、授業の振り返る活動や確かめ問題などに活用し、基礎・基本の定着をさらに図りたい。また、朝学習にも工夫して活用していく。
①	全教科で、学習内容や思考を共有する活動を設定するように意識し、学習形態（ペア、グループ）を工夫した授業展開を行い、生徒が積極的に参加する授業づくりの研究、実践する。	B	来年度に向けて、学習環境づくりを工夫し、みんなが積極的に参加する授業づくりについて、授業研究、校内研修を通して進めていき、「授業は工夫され、わかりやすい」という肯定的な割合が上がるようにする。（アンケート調査活用）
②	テスト週間の「質問教室」、長期休業中の「補充学習」、3年生対象の「放課後学習会」、「土曜日学習会」を実施し、個別指導を行う。	A	来年度も、各補充学習や学習会を引き続き充実させ、個別指導を行う。また、その活動を通して、学習習慣の定着及び集団づくりをする。
③	朝読書の時間を大切に、本に親しみ、読書習慣を身につけるとともに、落ち着いた一日をスタートする。	A	朝読書の時間を落ち着いて過ごすことが、一日の良いスタートとなり、授業へも良い影響を与える。来年度も引き続き本に親しみ、よい習慣が身につくように学校全体で取り組む。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			